

## 薬剤師業務に影響を及ぼす信念対立に関する調査

医師と協働した薬物治療における薬剤師の大きな役割として処方提案や疑義照会があります。処方提案や疑義照会を行う際に信念対立によってチームワークの悪化やストレスの発生が予想されますが、その研究報告は少なく、薬剤師を対象とした研究はありません。そこで、本研究では、処方提案や疑義照会によるチームワーク悪化とストレス発生の原因となりうる信念対立を明らかにするために、病院・薬局の勤務薬剤師を対象にアンケート調査を行いました。

2019年1月から4月に岐阜市にある医療機関に勤務する薬剤師のうち岐阜市薬剤師会・岐阜県病院薬剤師会の会員594人を調査対象としました。調査項目は性別、勤務先、経験年数、処方提案が原因でチームワークが悪化するか・ストレスを感じるか、疑義照会が原因でチームワークが悪化するか・ストレスを感じるか、信念対立尺度(ABCR-14)の各項目としました。解析には多重ロジスティック回帰分析とベイジアンネットワーク解析を用いました。

処方提案によるチームワーク悪化に対し、⑩-3（患者・家族と医療従事者間の信念対立）が両解析で抽出されました（図1および表1）。また、処方提案によるストレス発生に対し、⑩-8（他職種間の信念対立）が両解析で抽出されました（図1および表1）。

図1 ベイジアンネットワークの結果（処方提案）

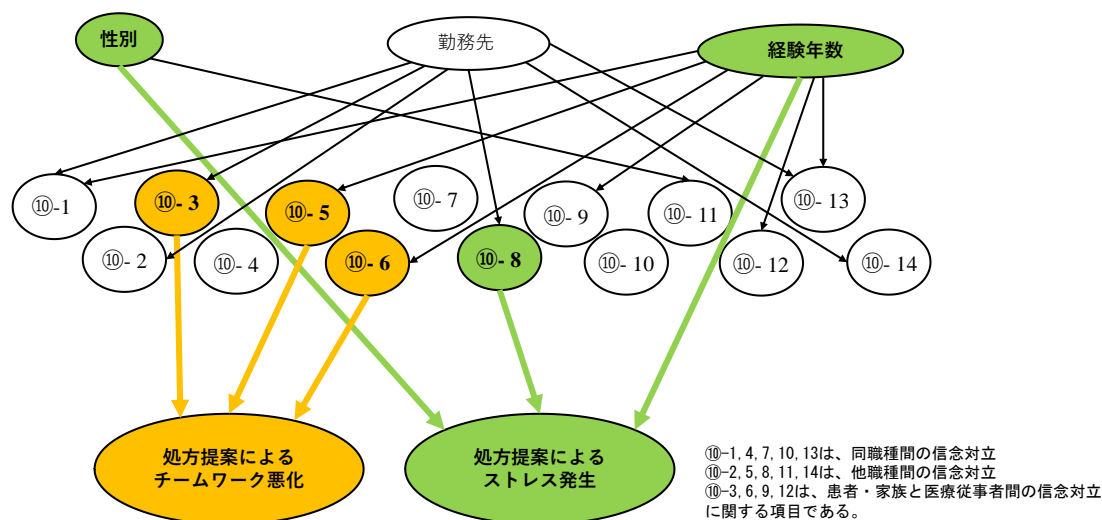


表1 多重ロジスティック回帰分析の結果（処方提案）

背景	Fisherの正確確率検定			多重ロジスティック回帰分析	
	あてはまる	あてはまるとはいえない	P値	オッズ比(95%信頼区間)	P値
<b>処方提案によるチームワーク悪化</b>					
性別(男性)	50/89	73/143	0.500		
勤務先(病院)	42/89	65/143	0.892		
勤務年数(10年以上)	60/89	79/143	0.074	1.48 (0.799-2.74)	0.212
⑩-1 同じ職種でも世代(年齢)の違う人が多く、お互いの協力関係を作りにくいと感じることがある。	24/89	22/143	0.042	1.88 (0.855-4.12)	0.117
⑩-2 理解しあえない他職種がいて働きにくいと感じることがある。	24/89	26/143	0.139	0.496 (0.176-1.40)	0.185
⑩-3 患者の気持ちはわかるが、痛みやイライラであたり散らされてつらいときがある。	36/89	29/143	0.001	2.20 (1.02-4.75)	0.045*
⑩-4 同じ職種の人たちから協力が得られず、連携がなかなかできない。	16/89	16/143	0.172	0.761 (0.298-1.95)	0.569
⑩-5 他職種とは考え方が食い違って連携しにくいことがある。	23/89	14/143	0.002	2.80 (0.899-8.69)	0.076
⑩-6 悲観的な訴えを繰り返す患者・家族のケアがストレスに感じることがある。	26/89	20/143	0.006	1.56 (0.624-3.89)	0.342
⑩-7 同職種では私の好むような親しみなどが少ない。	11/89	12/143	0.369		
⑩-8 業務中に、他職種から自分勝手なことや無理なことを言われるときがある。	31/89	26/143	0.005	2.18 (0.958-4.96)	0.063
⑩-9 話好きの患者・家族に長時間拘束されてしまい、仕事が進まずイライラすることがある。	35/89	42/143	0.151	0.519 (0.229-1.18)	0.117
⑩-10 同じ職種内では上司と部下の間で意思疎通がとりにくいことがある。	25/89	31/143	0.274		
⑩-11 “私の主張に耳を傾けない”というような他職種の態度に接することがある。	18/89	21/143	0.284		
⑩-12 不安の訴えの多い患者をケアするが、辛いと感じることがある。	27/89	18/143	0.001	1.84 (0.695-4.87)	0.220
⑩-13 同職種内にはチームとしての一体感がない。	14/89	15/143	0.307		
⑩-14 “すぐ怒る”“話にならない”などといった他職種の態度に嫌気がさすことがある。	20/89	21/143	0.157	0.786 (0.332-1.86)	0.585
<b>処方提案によるストレス発生</b>					
性別(男性)	88/170	35/62	0.555		
勤務先(病院)	78/170	29/62	1.000		
勤務年数(10年以上)	110/170	29/62	0.016	2.16 (1.13-4.13)	0.020*
⑩-1 同じ職種でも世代(年齢)の違う人が多く、お互いの協力関係を作りにくいと感じることがある。	38/170	8/62	0.137	1.09 (0.426-2.79)	0.858
⑩-2 理解しあえない他職種がいて働きにくいと感じることがある。	41/170	9/62	0.149	0.921 (0.313-2.70)	0.881
⑩-3 患者の気持ちはわかるが、痛みやイライラであたり散らされてつらいときがある。	51/170	14/62	0.323		
⑩-4 同じ職種の人たちから協力が得られず、連携がなかなかできない。	30/170	2/62	0.004	4.82 (1.01-23.0)	0.048*
⑩-5 他職種とは考え方が食い違って連携しにくいことがある。	32/170	5/62	0.067	0.932 (0.240-3.63)	0.919
⑩-6 悲観的な訴えを繰り返す患者・家族のケアがストレスに感じることがある。	41/170	5/62	0.005	1.70 (0.507-5.71)	0.389
⑩-7 同職種では私の好むような親しみなどが少ない。	19/170	4/62	0.333		
⑩-8 業務中に、他職種から自分勝手なことや無理なことを言われるときがある。	51/170	6/62	0.001	3.57 (1.21-10.51)	0.021*
⑩-9 話好きの患者・家族に長時間拘束されてしまい、仕事が進まずイライラすることがある。	62/170	15/62	0.085	0.773 (0.330-1.81)	0.553
⑩-10 同じ職種内では上司と部下の間で意思疎通がとりにくいことがある。	45/170	11/62	0.225		
⑩-11 “私の主張に耳を傾けない”というような他職種の態度に接することがある。	30/170	9/62	0.693		
⑩-12 不安の訴えの多い患者をケアするが、辛いと感じることがある。	40/170	5/62	0.008	2.29 (0.653-8.01)	0.196
⑩-13 同職種内にはチームとしての一体感がない。	22/170	7/62	0.826		
⑩-14 “すぐ怒る”“話にならない”などといった他職種の態度に嫌気がさすことがある。	31/170	10/62	0.710		

\* P値&lt;0.05

⑩-1,4,7,10,13は同職種間の信念対立、⑩-2,5,8,11,14は他職種間の信念対立、⑩-3,6,9,12は患者・家族と医療従事者間の信念対立に関する項目である。

疑義照会によるチームワーク悪化に対し、⑩-1（同職種間の信念対立）、⑩-3（患者・家族と医療従事者間の信念対立）、および⑩-4（同職種間の信念対立）の3項目がベイジアンネットワーク解析で抽出されました（図2）。また、疑義照会によるストレス発生に対し、⑩-9（患者・家族と医療従事者間の信念対立）、および⑩-10（同職種間の信念対立）の2項目がベイジアンネットワーク解析で抽出されました（図2）。

図2 ベイジアンネットワークの結果（疑義照会）

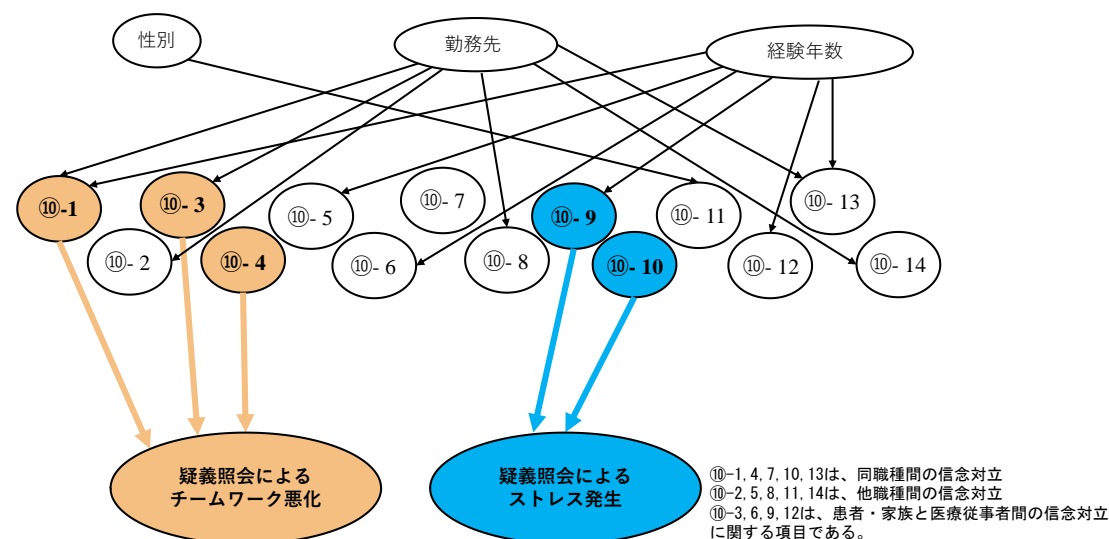


表2 多重ロジスティック回帰分析の結果（疑義照会）

背景	Fisherの正確確率検定			多重ロジスティック回帰分析	
	あてはまる	あてはまるとはいえない	P値	オッズ比 (95%信頼区間)	P値
<b>疑義照会によるチームワーク悪化</b>					
性別 (男性)	62/111	61/121	0.432		
勤務先 (病院)	48/111	59/121	0.431		
勤務年数 (10年以上)	74/111	65/121	0.060	1.67 (0.908-3.06)	0.099
⑩-1 同じ職種でも世代 (年齢) の違う人が多く、お互いの協力関係を作りにくいと感じることがある。	31/111	15/121	0.005	1.84 (0.759-4.45)	0.178
⑩-2 理解しあえない他職種がいて働きにくいと感じることがある。	29/111	21/121	0.113	0.695 (0.259-1.86)	0.469
⑩-3 患者の気持ちはわかるが、痛みやイライラであたり散らされてつらいときがある。	43/111	22/121	0.001	2.08 (0.963-4.48)	0.062
⑩-4 同じ職種の人たちから協力が得られず、連携がなかなかできない。	24/111	8/121	0.001	2.71 (0.934-7.85)	0.067
⑩-5 他職種とは考え方が食い違って連携しにくいことがある。	25/111	12/121	0.012	1.96 (0.620-6.21)	0.252
⑩-6 悲観的な訴えを繰り返す患者・家族のケアがストレスに感じることがある。	30/111	16/121	0.013	1.31 (0.513-3.33)	0.575
⑩-7 同職種では私の好むような親しみなどが少ない。	16/111	7/121	0.046	1.55 (0.510-4.71)	0.439
⑩-8 業務中に、他職種から自分勝手なことや無理なことを言われるときがある。	34/111	23/121	0.047	1.22 (0.538-2.79)	0.630
⑩-9 話好きの患者・家族に長時間拘束されてしまい、仕事が進まずイライラすることがある。	45/111	32/121	0.026	0.953 (0.434-2.09)	0.905
⑩-10 同じ職種内では上司と部下の間で意思疎通がとりにくいことがある。	34/111	22/121	0.032	0.873 (0.375-2.03)	0.753
⑩-11 "私の主張に耳を傾けない" というような他職種の態度に接することがある。	23/111	16/121	0.160	0.734 (0.244-2.21)	0.582
⑩-12 不安の訴えの多い患者をケアするが、辛いと感じることがある。	29/111	16/121	0.019	0.913 (0.341-2.45)	0.856
⑩-13 同職種内にはチームとしての一体感が無い。	18/111	11/121	0.015	0.894 (0.298-2.69)	0.842
⑩-14 "すぐ怒る""話にならない" などといった他職種の態度に嫌気がさすことがある。	26/111	15/121	0.038	1.58 (0.608-4.08)	0.349
<b>疑義照会によるストレス発生</b>					
性別 (男性)	92/183	31/49	0.111	0.525 (0.266-1.04)	0.063
勤務先 (病院)	87/183	20/49	0.424		
勤務年数 (10年以上)	112/183	27/49	0.512		
⑩-1 同じ職種でも世代 (年齢) の違う人が多く、お互いの協力関係を作りにくいと感じることがある。	40/183	6/49	0.160	1.12 (0.395-3.20)	0.826
⑩-2 理解しあえない他職種がいて働きにくいと感じることがある。	44/183	6/49	0.081	1.44 (0.493-4.20)	0.506
⑩-3 患者の気持ちはわかるが、痛みやイライラであたり散らされてつらいときがある。	58/183	7/49	0.019	1.49 (0.525-4.22)	0.454
⑩-4 同じ職種の人たちから協力が得られず、連携がなかなかできない。	29/183	3/49	0.102	1.87 (0.456-7.63)	0.385
⑩-5 他職種とは考え方が食い違って連携しにくいことがある。	32/183	5/49	0.275		
⑩-6 悲観的な訴えを繰り返す患者・家族のケアがストレスに感じることがある。	41/183	5/49	0.069	0.830 (0.228-3.03)	0.778
⑩-7 同職種では私の好むような親しみなどが少ない。	22/183	1/49	0.055	3.84 (0.466-31.6)	0.211
⑩-8 業務中に、他職種から自分勝手なことや無理なことを言われるときがある。	50/183	7/49	0.064	1.54 (0.565-4.18)	0.399
⑩-9 話好きの患者・家族に長時間拘束されてしまい、仕事が進まずイライラすることがある。	68/183	9/49	0.016	1.53 (0.572-4.11)	0.395
⑩-10 同じ職種内では上司と部下の間で意思疎通がとりにくいことがある。	47/183	9/49	0.350		
⑩-11 "私の主張に耳を傾けない" というような他職種の態度に接することがある。	31/183	8/49	1.000		
⑩-12 不安の訴えの多い患者をケアするが、辛いと感じることがある。	41/183	4/49	0.025	1.79 (0.430-7.43)	0.425
⑩-13 同職種内にはチームとしての一体感が無い。	26/183	3/49	0.151	1.23 (0.294-5.15)	0.775
⑩-14 "すぐ怒る""話にならない" などといった他職種の態度に嫌気がさすことがある。	33/183	8/49	1.000		

\* P値&lt;0.05

⑩-1,7,10,13は同職種間の信念対立、⑩-2,5,8,11,14は他職種間の信念対立、⑩-3,6,9,12は患者・家族と医療従事者間の信念対立に関する項目である。

本研究で明らかとなった知見は、病院や薬局に勤務する薬剤師がチームワーク悪化やストレス発生がなく処方提案や疑義照会を行う上で重要であると考えられます。

### 【発表論文】

林剛、舘知也、高岡みらい、野口義紘、寺町ひとみ、処方提案や疑義照会におけるチームワーク悪化・ストレス発生に影響する信念対立因子の解明—多変量解析とベイジアンネットワーク解析—、YAKUGAKU ZASSHI、140、1151-1164、2020